

第6回 自由が丘街づくり連絡調整会を開催しました！

(令和4(2022)年12月2日(金) 10:00~11:30 於 緑が丘文化会館 当日参加者27名)

自由が丘での街づくりの動きを幅広く知っていただくことを目的に、当ニュースを発行しております。

本会の趣旨

自由が丘には、町会や商店会といった団体のほか、地域の皆様で構成された**多様な組織が街づくりに取り組んでいる**ことから、**各々の街づくりの動きを共有し、互いに調整・連携**することを通して、より魅力的な自由が丘にしていくことを目指し、目黒区主催で『自由が丘街づくり連絡調整会』を開催しています。令和3年度からは、(株)ジェイ・スピリットが作成した「自由が丘駅周辺地区ランドデザイン」を踏まえ、これを実現・実行していくための計画である「未来ビジョン」の検討に取り組んでいます。

第6回目となる今回の自由が丘街づくり連絡調整会では、今年度中のエリアプラットフォームの構築と未来ビジョンの策定に向け、「自由が丘未来ビジョン (DRAFT)」をお示し、ご意見をいただきました。

「自由が丘未来ビジョン (DRAFT)」について

「自由が丘未来ビジョン (DRAFT)」は、次の5つの章で構成されています。

- I 章 未来ビジョンの役割
- II 章 現在の自由が丘の街の課題
- III 章 まちづくり目標と取組み策
- IV 章 当面の取組
- V 章 これからの街の運営体制

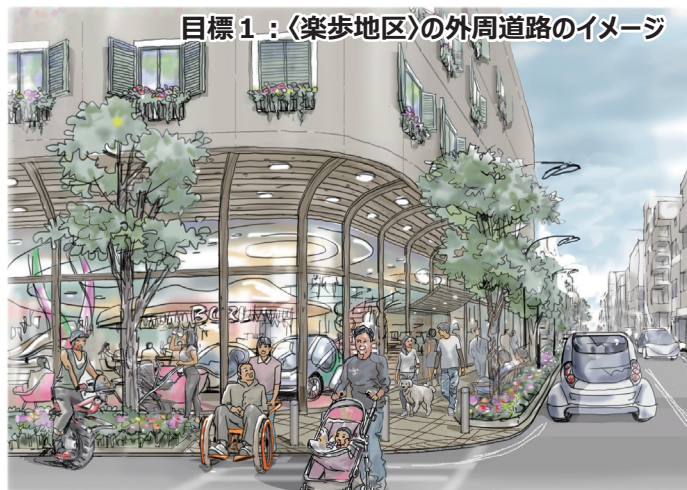
III 章 まちづくり目標と取組み策には「自由が丘における将来像と5つのまちづくり目標」として、下記の内容を記載しています。

【自由が丘の将来像】

〈自由の思想〉で創造していく
グリーン社会の小さな世界都市づくり
～ Lead GREEN ～

- 目標1** 駅前と周辺を安全と楽しさでつなぐ
楽歩、環境をつくりだす
- 目標2** 人と地球へのやさしさを発現する
緑装、のまちをつくりだす
- 目標3** とりまく変化を先取りした
多様な利用者の受け皿をつくりだす
- 目標4** まちを利用する誰もが災害時に
慌てずにすむ安心感をつくりだす
- 目標5** 進展するデジタル技術の活用により
誰にも優しいまちをつくりだす

目標1 : 〈楽歩地区〉の外周道路のイメージ



目標2 : 〈緑装〉による歩行者空間の緑化のイメージ



右のQRコード及び下記URLから目黒区ホームページで、未来ビジョン (DRAFT) が確認できます。

URL <https://www.city.meguro.tokyo.jp/kurashi/sumai/katsudo/jiyuugaokaeki/matidukurirenrakutyouseikai.html>



当日いただいた主なご意見

【未来ビジョン全体】

- かつての自由が丘は駅で下車した後街で様々な活動をしてから帰宅する街であったが、現在は単なる乗降駅でしかなくなっており、街が**“自分達の街ではなくなってしまった”**といった気持ちを抱えている人が多くみられる。**住んでいる人に街に興味を持ってもらいたい。**
- **これからの 10 年は自由が丘にとって重要な 10 年**となる。駐車場地域ルールの方策や、3つの再開発の完成、都市計画道路の拡幅等が予定されており、鉄道連続立体化についても見通しが立つかもしれない。**街の大きな変化が想像されるため、10年後を目途に未来ビジョンを改訂することも検討**してほしい。

【Ⅲ章：目標1「駅前と周辺を安全と楽しさでつなぐ`楽歩、環境をつくりだす`」】

- 現在の都市計画は道路を前提にしているが、自由が丘の道路が狭くて再開発が進まない状況にある。**道路が狭いことが有効になるような方法を模索**すべき。

【Ⅲ章：目標3「とりまく変化を先取りした多様な利用者の受け皿をつくりだす」】

- 「**自由な思想**」について、**共有したビジョンを持ちながら規制をかけつつも、それ以上のことは“自由”**といった状態を目指すべきであり、なんでもかんでも“自由”という訳ではないと思う。どこまでをルール化して、どこからが自由なのか、しっかり書いておかなければ勘違いされてしまう恐れがある。ここで言う**“自由”とはなにか、丁寧に記載**した方が良い。
- 現在の「**街並み形成指針**」には、**大規模建築物に関するルールがないため、拡充が必要**だと思うが、そもそも権限が弱いので、より踏み込んで未来ビジョンの実現を目指すのであれば、**規制力のある景観計画等へ移行**した方が良いのではないかと。
- **いまと比べてあと何があったら自由が丘に住みたいと思われるのか。**“多様な機能”といった表現ではなく、例えば、“駅前公園があった方がよい”等と、**もう少し具体的に求められるものを記載**する必要があるのではないかと。
- 10年後に選ばれるオフィスや住宅とは何なのか、を記載できると、ビルオーナーにとって「自分のための話」として捉えることができる。**未来ビジョンにもっと多くの賛同者が増えるように、それぞれが「自分のための話」と感じられるもの**があると良い。

【Ⅲ章：目標5「進展するデジタル技術の活用により誰にも優しいまちをつくりだす」】

- 「**環境対策**」、「**高齢社会への対応**」、「**住宅地の発展**」等の項目については、内容を分割し、イメージを含めて記載した方がよい。
- 将来的に自動運転の技術が進展していくことが予想される。**道路などのハード整備を行うと50年は持つが、どこかで変化させる**ことについて考えなければならない。また、次の時代の**自動運転と高齢社会とのマッチング**も考えておく必要がある。

【Ⅴ章：これからの街の運営体制】

- 「**エリアプラットフォーム**」について、今後、**何か決めなければならない場合はどのような仕組みにするのか**考える必要がある。

アンケート調査ご協力をお願い

未来ビジョンを地域の皆様とともに作りあげるため、アンケートを実施させていただきます(下記2つのいずれかで回答可能)。回答期間は、**令和5年1月25日(水)～2月3日(金)**までです。ご理解とご協力をお願いいたします。

①WEB 回答ページによる回答



右の QR コード及び下記 URL から回答ページにアクセスいただけます。

[URL] <https://logoform.jp/f/6dZxe>



② 回答用紙による回答



「自由が丘住区センター 1 階」及び「目黒区役所本館 6 階地区整備課」に設置してある回答用紙でもご回答いただけます(回収箱も設置しています)。

スケジュール

2021 年度 (R3 年度)							2022 年度 (R4 年度)							2023 年度 (R5 年度)							
8	9	10	11	12	1	2	3	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4～			
第3回			第4回				第5回		第6回							第7回		エリアプラットフォームへ発展継承			
街づくり活動団体個別ヒアリング							アンケート		アンケート							アンケート		ポスターセッション 実地調査			

《問い合わせ先》 目黒区 街づくり推進部 地区整備課 地区整備係 担当：増田、大谷内、柏木、平松

TEL 03-5722-9430 FAX 03-5722-9239 E-MAIL jyuuugaoka-kai@city.meguro.tokyo.jp

URL <https://www.city.meguro.tokyo.jp/kurashi/sumai/katsudo/jyuuugaokaeki/jyuuugaokamatidukuri.html>

